



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月5日

上場会社名 株式会社ワンダーコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 3344 URL <http://www.wonder.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 内藤 雅義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営戦略・管理本部長(氏名) 大坪 真治 (TEL) 029-853-1313  
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	32,911	△8.2	59	△72.1	41	△79.3	△74	—
30年2月期第2四半期	35,854	△1.6	214	—	198	—	51	—

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △60百万円(—%) 30年2月期第2四半期 128百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	△10.21	—
30年2月期第2四半期	9.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	35,763	11,303	30.2
30年2月期	34,733	9,712	26.6

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 10,817百万円 30年2月期 9,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,530	4.6	790	64.0	740	55.6	370	—	50.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

- (注) 1. 1株当たり当期純利益につきましては、平成30年3月29日を払込期日とする第三者割当増資による株式発行数(1,980,000株)を含めた、期中平均発行済株式数により算出しております。  
 2. 平成31年3月期は決算期変更に伴い、13ヶ月の変則決算となっております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	7,559,184株	30年2月期	5,579,184株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	3,431株	30年2月期	2,411株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	7,273,081株	30年2月期2Q	5,577,324株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. その他	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、総じて個人消費の持ち直しが見受けられ、緩やかな景気回復基調で推移しました。一方で、中国をはじめとした新興国等の経済動向、通商問題の動向、また、相次ぐ自然災害の影響など、先行きには留意する必要があります。

このような状況の中、当社グループは本年3月29日をもってRIZAPグループ株式会社の連結子会社となり、グループの様々な商材やサービスを生かした「高収益ハイブリット型店舗への転換」を進めました。他にも、グループの購買機能を活用し、様々な取引コスト低減に努め収益性の強化を図りました。

WonderG00事業におきましては、エンタメ市場全体における新作ゲームソフトや書籍販売の低調を受け、厳しい状況が続いております。そのような中、さらなる成長を図るべく、RIZAPグループのリソースを活用することを進めております。8月にWonderG00越谷店を改装し、パーソナルゴルフジム「RIZAP GOLF」を導入いたしました。また、同月にWonderG00千葉NT店を改装し、パーソナルトレーニングジム「RIZAP」をオープンいたしました。これらは主に売場効率が悪化していたアイテムを縮小・撤退し、同スペースを転貸することにより各店の収益力の向上を図るものです。

新星堂事業におきましては、人気アーティストによる音楽ライブの映像ソフト販売に加えて、新作やベスト盤の発売による音楽CD販売が伸長したため、堅調に推移いたしました。また、店舗や商業施設等を利用したイベント事業も拡大しており、今後も音楽映像に関わるあらゆるライフスタイルを積極的に提案し続けてまいります。

WonderREX事業におきましては、リユース品を生活の中に取り込むライフスタイルが一般的になっており、WonderREXにおいても、服飾・生活雑貨の品ぞろえを拡充し店舗数を年々拡大させております。7月以降の猛暑により一時的な売上低調となったものの、利益率の高い服飾・生活雑貨の売上伸長により利益を確保しております。同事業の継続的な成長には良質な商材確保が急務であるため、今後も引き続きRIZAPグループ企業との連携等を進め、事業拡大に必要な商品確保の取組みに注力いたします。

TSUTAYA事業におきましては、主力である映像・音楽レンタル部門が、スマートフォンを中心としたコンテンツ配信サービス等の影響を受け、厳しい状況が続いております。これに対し、独自で展開している有料会員サービスの拡充やサブスクリプション型サービスのTSUTAYAプレミアムの獲得促進など、安定的な収益確保に向けた取り組みを進めております。

当社グループにおける当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、WonderG00事業68店舗（内、F C 8店舗）、WonderREX事業26店舗（内、F C 2店舗）、TSUTAYA事業92店舗、新星堂事業99店舗、その他事業11店舗、合計296店舗となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は32,911百万円（前年同期比8.2%減）、営業利益59百万円（前年同期比72.1%減）、経常利益41百万円（前年同期比79.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失74百万円（前年同期は51百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、23,136百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,411百万円増加いたしました。これは主に、未収入金が118百万円減少したものの、現金及び預金が1,119百万円、商品が217百万円増加したことによるものです。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、12,627百万円となり、前連結会計年度末に比べ382百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が252百万円、投資その他の資産が141百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、17,918百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が658百万円増加したものの、1年内返済予定の長期借入金が124百万円、未払法人税等が88百万円、その他が359百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、6,542百万円となり、前連結会計年度末に比べ558百万円減少いたしました。これは主に、社債が150百万円増加したものの、長期借入金が452百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、11,303百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,591百万円増加いたしました。これは主に、平成30年3月29日を払込期日とする第三者割当増資により資本金が826百万円、資本準備金が826百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月14日付で公表しました連結業績予想の変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,120,097	6,239,547
売掛金	1,172,732	1,328,045
商品	13,701,034	13,918,120
貯蔵品	19,755	19,273
未収入金	608,392	490,292
繰延税金資産	305,122	304,460
その他	800,716	839,747
貸倒引当金	△3,498	△3,424
流動資産合計	21,724,353	23,136,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,746,337	3,655,525
その他(純額)	2,894,068	2,732,004
有形固定資産合計	6,640,405	6,387,530
無形固定資産		
のれん	183,615	171,818
その他	437,871	462,160
無形固定資産合計	621,487	633,978
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,157,725	5,040,704
その他	677,924	653,284
貸倒引当金	△87,987	△87,987
投資その他の資産合計	5,747,663	5,606,001
固定資産合計	13,009,556	12,627,510
資産合計	34,733,910	35,763,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,169,823	4,828,760
短期借入金	8,720,000	8,700,000
1年内償還予定の社債	20,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	1,415,636	1,290,806
未払法人税等	292,350	204,209
賞与引当金	153,464	126,890
ポイント引当金	392,852	310,114
その他	2,756,567	2,397,359
流動負債合計	17,920,694	17,918,140
固定負債		
社債	280,000	430,000
長期借入金	3,287,348	2,834,770
退職給付に係る負債	493,781	501,816
長期預り保証金	448,912	447,032
資産除去債務	838,189	822,352
繰延税金負債	362	109
その他	1,752,468	1,506,127
固定負債合計	7,101,064	6,542,209
負債合計	25,021,759	24,460,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,358,900	3,185,550
資本剰余金	2,472,235	3,298,885
利益剰余金	4,290,666	4,216,410
自己株式	△2,087	△3,786
株主資本合計	9,119,715	10,697,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	567	396
退職給付に係る調整累計額	122,208	120,418
その他の包括利益累計額合計	122,775	120,814
非支配株主持分	469,659	485,346
純資産合計	9,712,151	11,303,222
負債純資産合計	34,733,910	35,763,573

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	35,854,592	32,911,952
売上原価	23,583,866	21,209,693
売上総利益	12,270,726	11,702,259
販売費及び一般管理費	12,056,147	11,642,425
営業利益	214,578	59,834
営業外収益		
受取利息	15,840	14,190
資産除去債務戻入益	—	19,952
その他	46,582	34,548
営業外収益合計	62,423	68,691
営業外費用		
支払利息	69,046	64,282
新株発行費	—	11,586
その他	9,100	11,398
営業外費用合計	78,146	87,267
経常利益	198,855	41,258
特別利益		
固定資産売却益	—	303
特別利益合計	—	303
特別損失		
固定資産売却損	—	778
固定資産除却損	2,960	3,979
減損損失	8,860	425
特別損失合計	11,821	5,183
税金等調整前四半期純利益	187,033	36,377
法人税、住民税及び事業税	92,938	89,188
法人税等調整額	18,229	5,711
法人税等合計	111,167	94,899
四半期純利益又は四半期純損失(△)	75,865	△58,522
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,153	15,733
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	51,712	△74,255



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	75,865	△58,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△286	△217
退職給付に係る調整額	52,513	△1,790
その他の包括利益合計	52,226	△2,007
四半期包括利益	128,092	△60,529
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,028	△76,216
非支配株主に係る四半期包括利益	24,064	15,687

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年3月29日付で、RIZAPグループ株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、第1四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ826,650千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,185,550千円、資本準備金が3,298,885千円となっております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

従来、自動販売機による収入は営業外収益の「受取手数料」に計上しておりましたが、第1四半期連結会計期間より売れ筋商品等の品揃えを考慮した設置台数の増設、効率の良い収益性の高いベンダー・マルチマネー対応等に変更することにより収入の更なる増加が見込まれます。以上により、第1四半期連結会計期間より「売上高」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の組替えを行っております。

なお、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書における「受取手数料」の87,550千円を「売上高」に組替えております。

### 3. その他

#### 役員の変動

役員の変動につきましては、本日公表の「平成30年10月10日付組織再編および人事変動について」をご覧ください。